

# Book Review



## 歯周治療の疑問に答えます Q&A 47 歯周組織の仕組みと働きから最新の治療法まで

渋川義宏・永山元彦 監修



Reviewer

沼部幸博 Yukihiko Numabe

(日本歯科大学 生命歯学部 歯周病学講座)

歯周治療の解説本は数多い。しかしこの本は違う。それはどのページを開いても、すぐに何が書いてあるかが明解なことである。筆者らは読みやすいこと、見やすいことに留意して、一つひとつの図表、写真の大きさ、そしてレイアウトにも工夫を凝らしている。もちろんオールカラーである。

序文を読むと、監修者の2人はアメリカ・フィラデルフィア留学時にこの本の構想に着手し、足かけ9年を経てその夢を実現して、本書を完成させたという。ほかの執筆陣も監修者の掲げた目的を良く理解し、各Questionへの回答がともすれば難解なものになりがちであるにもかかわらず、理解しやすい言葉を選び、監修者2人の理念を見事に汲み取り、見開き2ページのなかに具現化している。

厳選されたQuestionのすべては歯周治療に必要なエビデンス、着眼点、手技等にかかわるもので、特に若い歯科医にとっては理解しておかなければならない項目ばかりである。

本のなかでの章分けはないが、基礎編はQ1の「歯周病とは？」から始まり、炎症論、組織破壊の理由、歯周病

原細菌にも言及している。次に歯周病の感受性、危険因子、歯周医学についての解説を経て、臨床編へと移行する。臨床編でのQuestionは歯周組織の検査の意義、結果の読み方を取り上げながら、治療計画へとテンポ良く進む。このように本書には、始めから小さく小さくとページを捲ることができる小気味良さがある。

臨床編中盤の歯周治療に関するQuestionでは、歯周治療の進め方の基本から、歯周外科手術の選択基準や歯周組織再生療法、骨移植、SPTまでの多岐にわたる質問に対し、基本知識をしっかりと押さえながらの解説が加えられている。もし始めから読み進んでいくのではなく、途中から読み始めた場合には、歯周治療初心者であれば難解な用語にぶつかるかもしれない。しかしこのような場合のため、内容の理解を助けるための充実した索引が巻末に用意されている。用語を索引で拾いながら、対象ページを読み進めば問題解決である。

さらに最新のEr:YAGレーザーを用いた治療法や、患者からの質問頻度の高い電動歯ブラシの選択や指導方

法、全身状態に問題があったり投薬を受けている場合の注意点、最後にインプラント治療や、インプラント周囲炎への対応にも質問は及ぶ。すべてを読み終わったときには、歯周病学・歯周治療学がすべて頭のなかで有機的につながり、すぐにでも患者と対峙する準備ができていことに気づくだろう。

さらに本書の優れているところは、少なすぎず、多すぎずの質問数である。これに関しては、当初はQuestionにさらに多くの候補があったものの、そこから監修者が議論を積み重ね、47に厳選した様子うかがえる。これは本の厚さや読みやすさ、携帯性に配慮したものだだろう。

このように、歯周治療の目的、術式、注意点などを知りたいとき、また治療に行き詰まったときに本書を手にとれば、すぐに必要な情報を的確に入手可能である。

以上の点から、疑いなくこの本は必携の一冊であり、2人の監修者のダイナミック・デュオの生んだ歯周治療の指南書として、未永く手元に置いておかれることをお勧めする。



B5判, 144頁  
オールカラー  
定価 (本体 6,400円+税)  
医歯薬出版刊